

に溢るゝを覺えたり。

哈薩克人の常食とする所のものは、多く羊肉を湯にて煮、之に鹽を附して食し、菜蔬の如きは、嘗て用ゆるを聞かず。日常斯の如くんば、到底壞血病の襲來を免かれざるの理なるに、絶えて此事なき所以のものは、多量に食草動物即ち牛、馬、羊の乳を飲むに原因せんか。果して然らば、乳中自ら壞血病を防ぐに足るの成分あるべし因て予も日々約五合の牛乳を用ひたり。元來哈薩克は回教の宗戒に依り酒を飲まず、故に馬乳を以て之に代ふ。蓋し馬乳は搾取せし時は甘味あるも數日攪拌して醱酵せしむれば酸味を生じて味頗る良しく之を飲めば微醺を催す。所謂馬酒とは即ち是れなり。

本日經過の道路は、伊犁河の右岸に沿ひて、一般開濶土質は黄土細沙を交へたり。第三巴音托海以東は、芨々草處々に叢生し、又阿由圩子より雅瑪吐に到る附近一帯は纏頭回民多く、約二百家あり、對岸は錫伯及纏頭回民の部落點在し、其南方山中には、哈薩克約二千五百、額魯特約五百戸游牧すと云ふ。

三 蚊虻哈薩克を山中に逐ふ